会 議 録

会議名	第3回みよし市都市計画審議会（平成22年度3回目）
日 時	平成22年12月21日（火） 午後2:00～午後3:30
場 所	西館2階 政策審議会室
出席者 （敬称略）	三宅 章介、曾田 忠宏、鈴木 昭弘、鳥居 鎌一、久野 泰弘、 榊原 光隆（代理：齋藤 和樹）、青木 隆典（代理：篠塚 勇、新谷 千晶）、 小川 久代 欠席委員（1名）：山本 未来 （事務局） 岡田経済建設部長、水野経済建設部副参事、深田経済建設部次長、 都市計画課：細野課長、宇野主幹、杉山係長、橋本主査、芳村主事
次第	1 市長あいさつ 会長あいさつ 2 審議事項 第1号 みどりと景観計画（案）について 3 報告事項 （1）生産緑地地区都市計画決定スケジュールについて 4 その他

会 議 録	
委員名	質 問 ・ 意 見
事務局 (次長)	今回の都市計画審議会は、市長より都市計画審議会に対して諮問する案件がございますので市長より諮問させていただきます。
市長 →会長	— 諮問 — 1 諮問事項 (1) みどりと景観計画 (案) について
事務局 (次長)	市長につきましては、他に公務がございますので、ここで一度退席させていただきます。それでは議事の審議に移りたいと思いますが、審議会条例第5条第4項の規定により、会長が審議会の進行をすることになっておりますので、三宅会長よろしく願いいたします。
会長	それでは、はじめに先ほど市長より諮問されました議案について、委員の皆さまで十分審議をしていきたいと思っております。 審議事項「議案第1号 みどりと景観計画 (案) について」事務局より説明願います。
審議事項 (1)「みどりと景観計画 (案)」について	
会長	それでは、審議事項「議案第1号 みどりと景観計画 (案)」についてご意見はありますか。
副会長	これは、緑と景観の2本立てです。4年に渡って住民と協議してまとまりました。緑と景観計画の中身については、大変良いものになったと思っております。これが、紙の冊子ではなくて、今後の展開が非常に大事だと考えます。
事務局 (主幹)	計画の作り方ですけど、緑と景観の基本的な方針を定めるのが本来でございます。ただ、活発な意見を頂いた中で絵に書いた餅の様な計画を作ってはいけないとの意見が多く寄せられたので、今回の計画とは別にアクションプランを取りまとめておまして、各施策に対して担当課を決め、短期、中期、長期といった目標を定めて、これに基づいて計画を進めていこうと考えております。
会長	人によって、価値観や美意識が違うと思いますが、どのように考えていますか。
事務局 (主幹)	色彩関係では人の好みも違います。実際に建築調査を三好根浦地区、過去区画整理を行った場所、市役所の周り、既成市街地で行いました。既成市街地はいわば、昔の農村集落がそのまま市街化区域になったという解釈をしていますので、そういったところの建物調査を行えば、大体市内の色の傾向はつかめるだろうと考えました。その結果を踏まえて特に色の鮮やかなもの、派手ではないかというものを制限しています。全て個人の家まで制限することは難しいので、みよし市まちづくり土地利用条例の特定開発事業を基本として届出をしてもらう考え方をしております。
会長	景観的に残しておきたいような、歴史建物はありますか。
事務局 (主幹)	個人的にですが、三好八幡社であれば、公共空間から見渡せると考えております。ただ具体的な指定に関しましては、別に(仮称)水と緑の風景を守り育てる条例という案を持っています。そこでみどりと景観審議会の規定をしており、その審議会でも議論をして頂いて景観重要建造物や景観重要樹木の指定をしてもらう仕組みを考えております。
会長	景観重要樹木に決められたら、定期的に枯れないようチェック体制はありますか。

事務局 (主幹)	今の条例の組み立て方は、景観重要樹木の所有者が管理義務を負うこととなります。管理基準を作って所有者が管理を行い、それに対して市は支援をします。
会長	支援というのは、経済的な支援ですか。
事務局 (主幹)	他市町村の事例を踏まえ検討していきたいと思います。
委員 (鳥居)	新しく開発した所は良いが、旧来の住んでいる所は地籍調査も入れない状態です。旧来の所も勘考しながら都市計画を行ってもらいたい。土地の問題で、地権者がいる関係で許可をもらわないとできないことが沢山あると思います。そういった部分をどうするか検討をお願いしたい。この計画が、これに沿って行くことを願います。
委員 (久野)	議会ではパブリックコメントの実施後の意見を聞いてはいるのですが、もう一度パブリックコメントの意見とそれをどのように取り入れているのか教えてほしい。
事務局 (主幹)	パブリックコメントの意見と市の考え方を説明
委員 (久野)	景観と緑もモデル地区を作る等、積極的な姿勢や投げかけについて、どう考えていますか。
事務局 (主幹)	先ほど申し上げました3つのリーディングプロジェクトを積極的に行っていきたいと考えています。特に筋生辰己山地区の住宅開発の部分ですが、既に建物の色、各敷地にシンボルツリーを一本植える等、いろいろ細かい基準があります。事業者はそこに住まわれる方のまちづくり協定として考えていますが、まちづくり協定を永遠に保っていくのはかなり難しいです。そのことを踏まえまして、今後、景観地区を決定し、新しい条例を作って極力法律に基づいた規制をしていく準備をしています。
会長	三好根浦地区はみよしの玄関口の表現で良いのですか。
事務局 (主幹)	玄関という表現ですが、高速道路は日本を縦断していますので、三好根浦地区は、その大規模な幹線軸である高速道路からみよし市への出入口、いわゆる「みよしの玄関口」という解釈をしています。三好根浦地区は、畑や雑種地を造成し直して工業用地や住宅用地として、今成り立っているのですが、玄関口ですので、これからも企業の方に緑化ということを極力投げかけてお願いをしていきたい。
委員 (新谷)	景観というと城下町といったイメージがある。緑というと、みよしでは、人の暮らしの隣にいつも緑があるというイメージなのですが、それが間違いかどうか教えて下さい。
副会長	みよし全体の景観を守っていくことが最大のテーマです。景観というと何か出来上がったもの例えば、城下町などをイメージしがちですが、みよし全体の景観は、これからみんなでつくっていきましょう、みよしらしい景観や良い景観をつくっていきましょうということをまとめたガイドラインです。ですから、みよしの生活、なりわいのなかで、みよしらしい美しいまちになれば良いし、皆さんの議論の中でできていくと良いと感じます。
会長	我々は、熱心に議論していかないといけないでしょうね。

副会長	これから景観審議会を作ろうとか、全員の皆さんにお伺いしているわけにもいかないですから、委員会を作って議論の中で決めたものを市民のフォーラムでお披露目するといった形に進めて行くこととなると思います。実際の運用は事務局で考えていると思いますが何かありますか。
事務局 (主事)	実際の運用については、「アクションプラン」というものがあり、その中から10個の重点施策というのを計画し、誰がどういう時期にどういう事業をやっていくのかということ位置づけて、平成24年度までに重点施策は完了していきます。
委員 (鳥居)	商工会の中で来年、花いっぱい運動を行います。それを行うには維持管理が大変です。今は、商工会の人がボランティアで水やり、草取りやっぺいこうと考えています。協力をお願いしたい。
会長	色彩の問題が出てきたときは、1件1件説得するのですか。条例で決まったら強制力があるのですか。
事務局 (係長)	景観形成基準を作りまして自然との調和や色彩の指定など行政指導の形をお願いしていきます。行政指導にも従わない場合には勧告や変更命令もできます。ただし、それには景観形成基準の全ての項目ではなくて、形や色彩の部分等しか勧告や変更命令はできません。よって自然との調和や緑化に努めなさい等の項目は、行政指導までしかできず、それに従わなかったからといって処罰はありません。
事務局 (主幹)	勧告、設計変更の命令に背いた場合は、景観法で懲役、もしくは罰金の規定があります。それが行えるのは、形態や色彩であって他の部分は行政指導です。今、景観形成基準が具体的にわからない部分もあるので運用指針も作る準備をしています。
委員 (鈴木)	景観重要建造物には耐震の問題がある。また、東名三好インターに平成6年の時、四季桜を法面に植えたが全部枯れてしまった経緯がある。継続して管理していくことは難しいと思います。
事務局 (主幹)	景観重要建造物、景観重要樹木にしても、管理の義務は条例上の条文にあります。それに対する助成の部分も条例にあります。ただ、景観重要建造物には、例えば愛知県では名古屋の榎木館とかがありますが、本当に限られているのが現状です。景観重要樹木はないと思います。全国的な事例や助成の内容も調べてしっかりした内容のものを作っていき考えはあります。あと、緑化の助成に関しては、みどりの推進課で生垣の補助について検討をしています。
会長	天然記念物は自動的に景観重要建造物、景観重要樹木に入るのですか。
事務局 (主幹)	天然記念物は文化財保護法に入りまして、景観法と二重にはかけられません。
委員 (久野)	アクションプランで形態と色彩だけを条例で指定していくという説明があったけれど、何か形を見せて具体的なものを作った段階で、その地域をどうしていこうといったある程度の具体性がないと表現できないのではないかと。例えば形態や色彩にしても、そういったものを詰めていくのか、自然的発生でいくのか。菟生辰己山と三好根浦と新市街地の3点の基本的な考え方を打ち出すべきではないか。

事務局 (主幹)	具体的に辰己山の景観形成基準は、計画の中に盛り込んでおります。例えば壁面後退の1m、建築物の屋根は切り妻、寄棟、色はグレーまたは黒色、外壁の色はマンセル値で数値が決まっています。門柱やフェンスの高さは見つけ高さは1.6mに下さいといった内容です。
委員 (久野)	そうすると建築確認の段階で指導がされるのですか。
事務局 (主幹)	まちづくり協定という形で今は、トヨタすまいるライフという事業者が窓口で、この内容で指導しています。
委員 (久野)	大手の会社等が入ると良いのだが、既成市街地の中でやっつけようとする場合は、どのように規制していくのか。
事務局 (主幹)	具体的に規制していくかどうかは今後の課題です。方針としまして市の既成市街地については5ブロックに分けて考えています。市役所周辺、既成市街地、区画整理が完了した所、アイモールジャスコ周辺とかエリアごとに緑と景観づくりの基本方針をいわゆる方向性を作っています。ただ、その方向性で進めるためには、例えば現実に住まわれている方の意向も当然必要となってきますので、具体的に緑化に関しては補助金を出すことや、色彩を決めるには皆さんの相当の同意がないとやれないと考えます。
委員 (斎藤)	警察の立場からいうと、緑というのは生きていますので道路の街路樹が生育すると道路の見通しが悪くなります。公園は防犯上の問題になることもあるので、計画に安心・安全・防犯を記述に加えてほしい。
委員 (新谷)	私も基本計画などの具体的に行う部分に安全・安心の記述をした方がいいと思います。
会長	住み良いまちづくりには、安全・安心と一体ですよ。
事務局 (主幹)	現在の記述を精査し、無いようであれば加えるように検討します。
会長	議案第1号「みどりと景観計画(案)」について異議、問題なしとして賛成いただける場合、挙手をお願いいたします。
委員	【全員挙手】
事務局 (次長)	慎重にご審議いただきありがとうございました。それでは、答申書の準備をいたしますので、しばらくお時間をいただきたいと思います。この間を利用し事務局より報告事項について説明をさせていただきます。
報告事項 (1)「生産緑地地区都市計画決定スケジュール」について	
事務局 (次長)	今の説明につきまして、何かご不明な点や質問などございますか。 特になさいますので、それでは、三宅会長から久野市長へ答申をお願いいたします。

会長 →市長	— 答 申 — 1 諮問事項 (1) みどりと景観計画(案)について 2 付記 安全、安心、防犯等についての記載を加えること。
事務局 (次長)	ありがとうございました。 次の審議会は「みよし市まちづくり基本計画」「保田ヶ池公園の都市計画決定」を議題として2月の下旬を予定しております。 これをもちまして平成22年度第3回みよし市都市計画審議会を閉会いたします。今日はありがとうございました。